

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【公開番号】特開2008-93261(P2008-93261A)  
 【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-016  
 【出願番号】特願2006-280222(P2006-280222)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)  
 G 0 7 F 7/08 (2006.01)  
 G 0 7 F 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F  
 A 6 3 F 7/02 3 2 8  
 G 0 7 F 7/08 S  
 G 0 7 F 9/00 1 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月23日(2009.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、

遊技機に対応して設けられ、前記管理装置と通信可能な複数の遊技用装置と、から構成され、

前記複数の遊技用装置の各々は、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で行なう貸与処理を前記管理装置と連携して行なう遊技用システムであって、

前記記録媒体は、前記遊技用装置で行なわれる前記貸与処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が記録され、

前記管理装置は、前記記録媒体識別情報に対応付けて通番を記憶し、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段と、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを前記管理装置に対して送信する記録通番送信手段と、

前記貸与処理を行なう貸与処理手段と、

前記貸与処理に伴って前記記録媒体に記録される通番を更新する第1の通番更新手段と、

前記貸与処理に伴って該貸与処理が行なわれる旨を示す貸与処理情報を前記管理装置に対して送信する貸与処理情報送信手段と、

前記通信可否検知手段による検知に関わらず、遊技者の排出操作に応じて、前記記録媒体を排出する記録媒体排出処理を行なう記録媒体排出処理手段と、

前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額を前記管理装置から取得する管理残額取得手段と、

該管理残額取得手段によって取得された前記管理残額を記憶する残額記憶手段と、

該残額記憶手段に記憶された残額を、前記貸与処理手段による前記貸与処理に用いられる貸与使用額分減算された残額に更新する残額更新手段とを備え、

前記貸与処理手段は、前記通信可否検知手段によって前記通信不可能状態が検知されたときに前記残額記憶手段に記憶された残額が0でないことを条件として、該残額を使用して前記貸与処理を行ない、

前記管理装置は、

前記貸与処理情報の受信に応じて前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けられた通番を更新して記憶する第2の通番更新手段と、

前記貸与処理情報の受信に応じて前記管理残額を減算する管理残額減算手段と、

前記記録通番送信手段から送信されてきた通番が該記録通番送信手段から送信されてきた記録媒体識別情報に対応付けられた通番と一致するか否かを判定する通番判定手段と、  
を備え、

該通番判定手段により通番が一致すると判定したときには、前記管理残額による前記貸与処理を許容する通番一致時処理を行ない、前記通番判定手段により通番が一致しないと判定したときには、前記管理残額を減算すると共に前記通番が一致するように更新した後に当該管理残額による前記貸与処理を許容する通番不一致時処理を行なうことを特徴とする、遊技用システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技用システムに関する。詳しくは、記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、遊技機に対応して設けられ、前記管理装置と通信可能な複数の遊技用装置と、から構成され、前記複数の遊技用装置の各々は、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲で行なう貸与処理を前記管理装置と連携して行なう遊技用システムに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

(1) 記録媒体(たとえば、会員カード4, ビジタコイン5)を個々に識別可能な記録媒体識別情報(たとえば、記録媒体ID)に対応付けて遊技媒体(たとえば、パチンコ玉)の貸与に使用される残額を(たとえば、ハードディスク55の残額管理DBにて)管理する管理装置(たとえば、管理装置50)と、

遊技機に対応して設けられ、前記管理装置と通信可能な複数の遊技用装置と、から構成され、

前記複数の遊技用装置の各々は、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲で行なう貸与処理を前記管理装置と連携して行なう遊技用システム(たとえば、遊技用システム1)であって、

前記記録媒体は、前記遊技用装置で行なわれる前記貸与処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が記録され、

前記管理装置は、前記記録媒体識別情報に対応付けて通番を記憶し、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段と、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを前記管理装置に対して送信する記録通番送信手段と、

前記貸与処理を行なう貸与処理手段と、

前記貸与処理に伴って前記記録媒体に記録される通番を更新する第1の通番更新手段と、

前記貸与処理に伴って該貸与処理が行なわれる旨を示す貸与処理情報を前記管理装置に対して送信する貸与処理情報送信手段と、

前記通信可否検知手段による検知に関わらず、遊技者の排出操作に応じて、前記記録媒体を排出する記録媒体排出処理を行なう記録媒体排出処理手段と、

前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額を前記管理装置から取得する管理残額取得手段（たとえば、制御部21、外部通信部21b、S201、S202、S221、S241）と、

該管理残額取得手段によって取得された前記管理残額を記憶する残額記憶手段（たとえば、制御部21、S222、S242）と、

該残額記憶手段に記憶された残額を、前記貸与処理手段による前記貸与処理に用いられる貸与使用額（たとえば、使用額＋消費税額）分減算された残額に更新する残額更新手段（たとえば、制御部21、S129）とを備え、

前記貸与処理手段は、前記通信可否検知手段によって前記通信不可能状態が検知されたときに前記残額記憶手段に記憶された残額が0でないこと（たとえば、S532でYESであること）を条件として、該残額を使用して前記貸与処理を行ない（たとえば、制御部21、S533、S534）、

前記管理装置は、

前記貸与処理情報の受信に応じて前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けられた通番を更新して記憶する第2の通番更新手段と、

前記貸与処理情報の受信に応じて前記管理残額を減算する管理残額減算手段と、

前記記録通番送信手段から送信されてきた通番が該記録通番送信手段から送信されてきた記録媒体識別情報に対応付けられた通番と一致するか否かを判定する通番判定手段と、を備え、

該通番判定手段により通番が一致すると判定したときには、前記管理残額による前記貸与処理を許容する通番一致時処理を行ない、前記通番判定手段により通番が一致しないと判定したときには、前記管理残額を減算すると共に前記通番が一致するように更新した後、に当該管理残額による前記貸与処理を許容する通番不一致時処理を行なう。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような構成によれば、遊技用装置によって、記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額が管理装置から取得され、取得された管理残額が記憶され、記憶された残額が、貸与処理に用いられる貸与使用額分減算された残額に更新される。また、遊技用装置に

よって、管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかが検知され、通信不可能状態が検知されたときに、記憶された残額が0でないことを条件として、残額を使用して貸与処理が行なわれる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、遊技用装置での貸与処理に伴って更新される通番が記録媒体に記録されるので、通信不可能状態が発生した遊技用装置から排出された記録媒体を通信可能状態の遊技用装置に挿入することで、該記録媒体に記録されている通番と管理装置において該記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けられた通番から、通信不可能状態の発生により遊技用装置で貸与処理が行なわれたにも拘わらず、管理装置で該貸与処理に連携する処理が行なわれていない事を特定して、対処することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】